



ポートおよびデバイスの設定

この章の内容は、次のとおりです。

- [Cisco Monitor Manager のポートタイプ, 1 ページ](#)
- [ポートタイプの設定, 2 ページ](#)
- [モニタデバイスの設定, 3 ページ](#)
- [ルートノードの設定, 3 ページ](#)

Cisco Monitor Manager のポートタイプ

Cisco Monitor Manager では異なるポートタイプを設定することができます。すべての設定済みポートは [Port Types] タブの [Configured Ports] テーブルに表示されます。

Edge Port

エッジポートは、トラフィックがモニタネットワークに入る入力ポートです。Cisco Monitor Manager は次のエッジポートをサポートします。

- TAP ポート：物理タップのワイヤに接続された着信トラフィック用のエッジポート。
- SPAN ポート：SPAN 宛先として設定されるアップストリームスイッチに接続された着信トラフィックのエッジポート。

エッジポートの設定はオプションです。

Delivery Port

配信ポートはトラフィックがモニタネットワークを出る出力ポートです。これらの発信ポートは外部モニタリングデバイスに接続されます。Cisco Monitor Manager でモニタデバイスを設定すると、設定したスイッチとポートに名前とアイコンを関連付けることができます。

設定されたデバイスは、[Devices] タブの [Monitor Devices] テーブルに表示されます。アイコンとそれをノードに接続する直線がトポロジ図に表示されます。

ポートタイプの設定

ステップ 1 トポロジ図で、ポートを設定するノードをクリックします。

ステップ 2 [Configure Network Device] ダイアログボックスで、[Configure Port Types] をクリックします。

ステップ 3 次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Select a port] ドロップダウン リスト	設定するポートを選択します。
[Select Port Type] ドロップダウン リスト	<p>ポートのポートタイプを選択します。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Edge Port - SPAN : SPAN 宛先として設定されたアップストリーム スイッチに接続された着信トラフィックのエッジポートを作成します。 • Edge Port - TAP : 物理タップのポートに接続された着信トラフィックのエッジポートを作成します。 • Delivery Port : モニタリングデバイスに接続できる発信ポートを作成します。 • Unspecified Port : 指定されていないポートを作成します。未指定ポートをエッジポートまたは配信ポートとして使用することはできません。 • Remove Configuration : ポートから既存の設定を削除します。
[Set VLAN] フィールド	<p>SPAN または TAP ポートに使用する VLAN ID。</p> <p>(注) VLAN ID を設定した場合、パケットの現在の VLAN が上書きされる場合があります。</p>

ステップ 4 [Configure] をクリックします。

モニタ デバイスの設定

はじめる前に

モニタ デバイスを設定する前に、配信ポートのタイプを設定する必要があります。

ステップ 1 トポロジ図で、デバイスを設定するノードをクリックします。

ステップ 2 [Configure Network Device] ダイアログボックスで、[Configure] をクリックします。

ステップ 3 次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Select a port] ドロップダウン リスト	デバイスを設定する配信ポートを選択します。
[Name] フィールド	デバイスの名前。 この名前には、1～100 文字の英数字を使用できます。スペースや特殊文字は使用できません。また、オブジェクトの保存後は、この名前を変更できません。
[Icon] オプション ボタン	デバイスに対して使用するアイコン。アイコンはトポロジ図に表示されます。

ステップ 4 [Add Device] をクリックします。

ルート ノードの設定

ルート ノードは Cisco Monitor Manager によって自動的に選択されます。定義されたルート ノードが送信元スイッチと距離が離れすぎている場合は、手動で別のスイッチを設定できます。新しいルート ノードとしてエッジポートのあるスイッチを選択することを推奨します。



(注) ルートノードの変更は、設定を保存し、Cisco XNC アプリケーションを再起動するまで有効になりません。

ステップ 1 [Root] タブで、[Configure Root] をクリックします。

ステップ 2 [Configure Root Node] ダイアログボックスで、[Select Root Node] ドロップダウン リストからノードを選択します。

ステップ 3 [Configure] をクリックします。
